

令和5年度第2回（第44回）魚沼市地域公共交通協議会 議事要旨

日 時	令和6年1月12日（金） 13:30 ～ 15:00
場 所	魚沼市役所本庁舎 3階 議会会議室
出席委員	20人（うち代理出席3人） ※別紙、出席者名簿のとおり
欠席委員	5人
事務局	6人
傍聴者	0人
会議次第	1 開 会 2 開会あいさつ 3 議 題 （協議事項） (1) 地域公共交通確保維持改善事業に関する事業評価（自己評価）の実施について（資料1） （報告事項） (2) 地域公共交通計画の修正及び令和6年度協議会事業の取組について（資料2） (3) 令和6年度の路線バス・乗合タクシーの運行方針等について（資料3） (4) 入広瀬コミュニティバスの事業運営について（資料4） 4 その他 5 閉 会
会議結果	承認
会議概要	下記のとおり（要点記録）

1 開 会

事務局	<p>新年あけましておめでとうございます。 本年もどうぞよろしく申し上げます。 定刻になったので、これより令和5年度第2回魚沼市地域公共交通協議会を開会する。</p> <p>はじめに、委員の変更を1件報告させていただく。 本日は欠席であるが、18番の北陸信越運輸局交通政策部交通企画課長の玉巻委員が、昨年7月の人事異動に伴い、後任の新倉委員へ交代となったので、ご承知願いたい。</p> <p>本日の会議は、委員総数25人のうち、代理の方を含め20人の出席があることから、協議会規約第12条第2項の規定により、本会議が成立していることを報告する。</p> <p>また、本会議は、協議会規約第12条第7項の規定により公開で行うこととしているので、あらかじめご了承ください。</p> <p>開会に当たり、会長の内田市長がご挨拶申し上げます。</p>
-----	--

2 開会あいさつ

<p>内田会長 (魚沼市長)</p>	<p>皆さん本年もよろしくお願ひ申し上げます。</p> <p>まず、元旦に発生した能登半島地震で亡くなられた方々に対し、哀悼の意を表するとともに、被災された全ての皆さんへ心からお見舞ひ申し上げます。</p> <p>本市としても、緊急消防援助隊の要請を受け、昨日までに延べ21人の消防隊員を現地へ派遣したほか、いずれも合併前の旧広神村と旧能登島町が友好町村提携をしていた関係から、石川県七尾市へ救援物資の配達や、今月の15日から1か月間、延べ60人余りの応援職員の派遣を計画しているところである。</p> <p>石川県七尾市長とは、北信越市長会の場においても親しく交流のある間柄で、七尾市においては、職員自らも被災を受けながら、日々の震災対応に尽力されている状況にあることを鑑み、本市としても最大限の支援を行い、一刻も早い復旧復興につながることを願いたい。</p> <p>さて、今回は、令和5年度第2回の協議会ということで、前回会議からの進捗状況や課題等について報告が予定されている。</p> <p>昨年は、路線バスの休止問題等で難しい舵取りを迫られたわけであるが、これも一つの契機と捉え、地域のニーズや課題をしっかりと取り上げ、より効果的で、かつ持続可能な公共交通体系を構築していかなければならないと考えている。</p> <p>そのためにも、皆さんとの協力、そしてコミュニケーションが鍵となるので、忌憚のない前向きなご意見を頂戴しながら会議を進めてまいりたい。本日はよろしくお願ひしたい。</p>
<p>事務局</p>	<p>続いて、本日の出席者は資料のとおり、欠席は7番の長岡国道事務所 水口委員、12番の小出干溝区連合自治会 大平委員、冒頭申し上げた18番の新倉委員、19番の新潟運輸支局 山田委員、24番の連合新潟中越地域協議会 矢島委員の5人。</p> <p>また、5番のひかり交通 山本委員、6番の入広瀬コミュニティ協議会 浅井委員、10番の小出警察署 尾崎委員におかれては、本日所用のため代理出席となっている。時間の都合もあるので、代理出席の方の紹介については、お手元の出席者名簿に代えさせていただきます。</p> <p>それでは、議題に入る。</p> <p>本日は、ご案内のとおり、国庫補助金事業に係る事業評価のほか、令和6年度に向けた取組等に関する報告事項について協議をお願ひしたい。</p> <p>これより、協議会規約により議事進行を会長の内田市長に交代する。</p>

3 議 題

(協議事項)

(1) 地域公共交通確保維持改善事業に関する事業評価（自己評価）の実施について

<p>事務局</p>	<p>《地域公共交通確保維持改善事業に関する事業評価（自己評価）の実施について（資料1）説明》</p>
<p>内田会長 (魚沼市長)</p>	<p>質疑はないか。</p>

<p>宮腰委員 (長岡工業 高等専門学 校)</p>	<p>守門地域の2路線(福山新田乗合タクシー、高倉乗合タクシー)で、目標・効果達成状況がC評価となっているが、この後報告が予定されている令和6年度運行方針には、この評価内容は考慮されているのか。</p>
<p>事務局</p>	<p>詳細は後段でご説明させていただくが、守門地域における利用率の低下や現状を踏まえ、乗合タクシーの利用促進を図るべく、令和6年度に向けた新たな取組及び再編提案であり、今回の評価結果についても反映した取組内容としている。</p>
<p>宮腰委員 (長岡工業 高等専門学 校)</p>	<p>運輸支局への事前説明などは行っているのか。</p>
<p>事務局</p>	<p>今回お示ししている資料は、一度新潟運輸支局の担当者からお目通しただいており、コメント内容などは事前の指摘事項を反映したものとなっている。</p> <p>なお、令和6年度に向けた取組内容については、一義的に本会議での提案を優先すべきと考えていたので、運輸支局から様々な事案において助言をいただく場面は多々あるが、具体案に関する個別の協議はこれから進めていきたいと考えている。</p>
<p>上村委員 (堀之内連 合区長会)</p>	<p>私が連合自治会長という役職柄もあり、自作の乗合タクシー乗車体験チラシを地区内で回覧するなどして、独自に利用促進や情報発信に努めてきたつもりであるが、結果的に堀之内地域の2路線(上稲倉・魚野地乗合タクシー、新道島乗合タクシー)が目標値を下回るC評価となり、非常に残念に思う。</p> <p>詳細な分析は事務局へお任せずとして、今後の改善点に「SNS等を通じて、周知・利用促進を図る」とあるが、今後も更に高齢化率の上昇が見込まれる中、主たる利用者である高齢者に対してSNSを使ってというのは、いささかハードルが高いのではないか。</p> <p>どのようなSNSの活用方法を考えているのか。</p>
<p>事務局</p>	<p>高齢者の方へ直接SNSでという想定ではなく、SNSを活用している現役世代の認知度を向上させることにより、ひいては、ご家族の中での話題として高齢者へアプローチや拡散が図られれば、それも一つの有効な手段になるのではと考えている。</p> <p>実際に、高齢の親を持つ息子さんなどから、親御さんの通院等に乗合タクシーを利用してみたいといった照会も受けている。</p>
<p>上村委員 (堀之内連 合区長会)</p>	<p>親子同居世帯ならば、家族内でのそういった話題提供も可能であろうが、高齢者のみの世帯が増加傾向にある中で、果たして効果的な手段といえるだろうか。代替案を模索するにも、難しい課題である。</p>
<p>事務局</p>	<p>SNSという表現を用いているが、あくまで手段の一つと捉えているにすぎない。</p>

	<p>毎年、民生委員・児童委員協議会等のご案内申し上げているが、SNSに限らず、これまで行っている対面での周知・説明といった啓発活動などについては、今後も継続して取り組んでいく。</p> <p>また、乗合タクシーの時刻表に乗り方案内も記載しているものの、なかなか皆さんの目に留まらない上、文字情報であるため理解が深まらない部分があることから、紙媒体のほかに、利用促進に向けたPR動画の作成などについても検討していきたいと考えている。</p>
<p>上村委員 (堀之内連合区長会)</p>	<p>印刷した時刻表の配布のみでは、ビジュアル的にも利用促進にはつながりにくいと感じている。私としても、今後も繰り返し自作のチラシ回覧を行うなどして、住民向けの周知に努めていきたい。</p>
<p>内田会長 (魚沼市長)</p>	<p>広報はもちろんだが、なによりも、一度乗ってみるという実体験が一番効果的であるように思う。毎年、運賃無料の乗合タクシー利用促進月間を実施しているので、各地域や団体等でこの期間を有効に活用していただくようお願いする。</p>
<p>井口委員 (魚沼市自立支援協議会)</p>	<p>市職員や地域の方々の努力は理解できるが、紙面での案内や検討中のPR動画だけでは、広く理解を深めるに不十分である。</p> <p>対象が障害者となればなおさらで、その場に足を運び、予約電話のかけ方や車両の待ち方など、実際に目に見える形で丁寧に示していくことが必要で、誰もが一連の流れを体験できるような場所・機会を提供していただくようお願いしたい。</p>
<p>佐藤委員 (守門地区区長会)</p>	<p>市民への理解浸透を図るには、紙媒体等での周知も大事だが、自らで乗合タクシーを呼んで、そして乗ってみたという実体験の積み重ねが、結果的に利用促進につながるものと考えている。</p>
<p>佐藤委員 (守門地区区長会)</p>	<p>私の身近にも、運転免許証を返納した、あるいは次回更新しないとといった高齢者の姿が見受けられるようになった。</p> <p>これまで、自由に出かけることのできていた人が、突如にして車という移動手段を奪われ、特に高齢者の場合は、外出控えに起因するひきこもり等により、認知症の発症・進行などが心配され、不安材料は移動手段の確保だけにとどまらない。</p> <p>高齢者は、身体的要因等により、配布物を熟読できるとも限らないので、井口委員がおっしゃったように、積極的なアプローチと、より丁寧な対応が求められる。</p> <p>せっかく良い交通サービスがあるのだから、ぜひ多くの方から利用していただきたい。</p>
<p>内田会長 (魚沼市長)</p>	<p>利用促進案については改めて機会を設けることとしたいが、本件について、ほかに質疑はないか。</p> <p>ないようであれば、国土交通省の審査の段階で軽微な修正が生じる場合があることも踏まえ、承認することで異議はないか。</p>
<p>委員一同</p>	<p>異議なし【承認】</p>

(報告事項)

(2) 地域公共交通計画の修正及び令和6年度協議会事業の取組について

事務局	《地域公共交通計画の修正及び令和6年度協議会事業の取組について（資料2）説明》
内田会長 （魚沼市長）	質疑はないか。
星委員 （湯之谷地区自治会長 連絡協議会）	令和6年度の取組について、2点伺う。 ・新たな取組として、地域公共交通における基礎調査検討業務とマップデザイン作成業務を行うとのことだが、各事業の執行と本協議会はどういった位置付けになるのか。 ・マップデザイン作成について、観光利用も視野に入れてとの説明であったが、作成に当たり観光協会の参画等も想定しているのか。
事務局	・いずれの事業も、協議会の令和6年度予算において実施を予定しているもので、協議会の予算・決算にも関係する協議会事業の一環という建て付けになる。よって、事業の進捗状況等についても、その都度本協議会で報告させていただく。 ・まずは、生活交通における利便性といった切り口を最優先にしたいと考えているが、観光利用といった視点についても、他市の事例を参考にしながら、デザイン作成過程において検討し、具現化していきたい。その上で、必要に応じ観光分野の方のご意見なども取り入れ、市民はもとより、幅広く利活用が見込めるマップデザインになればと考えている。
内田会長 （魚沼市長）	ほかに質疑がないようであれば、ただいまの質問を踏まえ、承認することで異議はないか。
委員一同	異議なし【承認】

(3) 令和6年度の路線バス・乗合タクシーの運行方針等について

事務局	《令和6年度の路線バス・乗合タクシーの運行方針等について（資料3）説明》
内田会長 （魚沼市長）	令和6年4月1日以降の路線バスの運行に関し、南越後観光バスの川上委員から補足があったら説明願う。
川上委員 （南越後観光バス株式会社）	4月以降の運行形態等については、現在、市当局と詰めの協議を進めているところであり、運行本数やダイヤについても検討中であることから、個別の路線について今はまだ申し上げられる段階にない。準備ができ次第になるが、おおむね2月の後半から3月上旬には、皆さんにお示しできるようになるものと考えている。 大きな変更点としては、湯之谷地域において、4月から日中の時間帯は乗合タクシーが区域拡張の上運行し、朝夕の大量輸送を伴う時間帯のみ路線バスで対応するといった形態に移動手段の再編が行われる見込みであり、同じく幹線系統の小千谷線、六日町線については、市当局で路線維持

	<p>に向けた追加支援を検討いただいていることに関し、事業者の立場として感謝申し上げます。</p> <p>バス事業者は、報道にもあるように全国的かつ急速に運転士不足が進んでおり、乗務員の確保が非常に難しくなっている。</p> <p>弊社としても、高齢化による運転士の退職が増加傾向にある中で、運転士の休日出勤等でなんとか対応している状況で、大型2種免許取得費に対する50万円の補助や冬期雇用者の時間給を割増するなど、労働環境の改善を図りながら乗務員の募集に努めているものの、新規採用には至っていない。公共交通を担う立場としては、お客様を安全安心に移送することが使命であるので、働きやすい職場環境をつくりながら、引き続き乗務員の確保に取り組んでいきたい。</p> <p>他方で、先ほどの栃尾又線と同様、地域によっては路線バスとデマンドバス等の路線が重複するケースが増えつつあり、現在協議中の幹線系統については今後も運行継続していきたいと考えているが、深刻な運転士不足といった問題を抱える中で、利用の少ない路線については、今後廃止等の検討が必要になる場面が想定される。</p> <p>当地域では、荒金経由浦佐線の利用がかなり少ない状況にあることから、バス路線全体を見渡す中で、今後の方向性等について改めて市当局と相談させていただきたいと考えている。</p>
<p>内田会長 (魚沼市長)</p>	<p>まず1点目の、湯之谷地域乗合タクシーの再編について質疑はないか。</p>
<p>佐藤委員 (魚沼市老人クラブ連合会)</p>	<p>私は、湯之谷地域でもあり、本会議には老人クラブ連合会の立場として出席しているが、本日までまったく内容を聞かされておらず、初耳である。</p> <p>これまで、地域での説明会や、地元区長や民生委員等への事前周知は行われてきたのか。</p>
<p>内田会長 (魚沼市長)</p>	<p>本日は、具体的な決定事項の報告ではなく、まずは、令和6年度に向けた方向性を本会議でお示しさせていただいたということである。</p> <p>今後の対応や周知方法等について、事務局から追加説明をお願いする。</p>
<p>事務局</p>	<p>本日の議題とした趣旨は、地域へ出向く前段として、まずは本市の公共交通の中核的な役割を担う本会議において、委員各位の合意形成を優先すべきと判断したものである。</p> <p>その上で、詳細について具現化した後、順を踏んで地元説明会や関係団体等への周知を図っていきたいと考えている。</p> <p>年度末を迎え、市の予算議決との関係からも非常にタイトなスケジュールになるが、進展があった際には改めてご案内させていただく。</p>
<p>佐藤委員 (魚沼市老人クラブ連合会)</p>	<p>上意下達という姿勢ではなく、事前の打合せや調整段階から地元の意見をくみ取るなど、もう少し丁寧な対応をお願いしたいというのが本音だ。</p>
<p>事務局</p>	<p>湯之谷地域乗合タクシーの再編については、バス事業者及びタクシー事業者間において路線が競合する部分があり、双方の合意なくして本案は成</p>

	<p>立しないことから、まずは関係者が顔をそろえる本会議において、方向性の柱について理解をいただく必要があったことを理解願いたい。</p> <p>また、内容についても、まずは実証運行という形でのスタートを予定しており、実証期間中に地域や利用者の声を聞かせていただきながら、本格運行へとつなげていきたいと考えている。</p>
<p>内田会長 (魚沼市長)</p>	<p>地元への説明を軽視するような意図はまったくなく、一義的に、本市の公共交通の骨格を決めるのが本会議という位置付けになっていることから、まずは本会議において一定の了承を得ないことには、その後の協議を進めることができない。</p> <p>今後、ダイヤや運賃など詳細については関係者間で調整するとし、対外的な周知も含め運行方針の全体像として理解願えればありがたい。</p>
<p>星委員 (湯之谷地区自治会長 連絡協議会)</p>	<p>運行本数が減るにせよ、懸念されていた路線バス栃尾又線の継続方針が示されたとともに、隙間時間帯に乗合タクシーの運行が延伸されるといったことは大変喜ばしい。</p> <p>温泉街を訪れたお客様の移動手段としても利用が見込まれるようになることから、週末や年末年始の運行など、利用状況に応じた柔軟な対応が図られるよう検討していただければありがたい。また、その際には先ほど佐藤委員もおっしゃっていたように、地元や関係者の意見等もくみ取っていただくようお願いする。</p>
<p>事務局</p>	<p>まずは実証運行という形でのスタートになるが、その後の運行形態については、利用者の声にも配慮しながら、事業者を含めて検討していきたいと考えている。</p> <p>また、昨年来、各種団体等から要望も届いているので、生活交通及び観光利用の両面から、できる限りの利便性の確保に努めていきたい。</p>
<p>内田会長 (魚沼市長)</p>	<p>ほかにはないようであれば、次に、2点目の守門地域乗合タクシーの再編について質疑はないか。</p>
<p>佐藤委員 (守門地区 区長会)</p>	<p>3月の年度末に向けて、当守門地域においても各集落で総会が予定されている。可能であれば、そのような席に事務局から出席していただき、地元住民への説明や意見交換の機会を与えていただければと思うが、出前講座のような出張対応をお願いしてもよろしいか。</p>
<p>事務局</p>	<p>こちらとしても、そのような時間をいただけることは大変ありがたく、利用促進に向けても良い機会となる。ご相談いただければ日程調整させていただきますので、よろしく願いたい。</p>
<p>川上委員 (南越後観光バス株式会社)</p>	<p>1点目の湯之谷地域については、路線バスと乗合タクシーの時間帯での住み分けが図られているが、守門地域における乗合タクシーの運行形態は、路線バスへの影響を考慮したものとなっているのか。</p>
<p>事務局</p>	<p>当地域は、路線バスの穴沢線が運行していることから、再編案における経路についても、穴沢線への影響が最小限となるよう考慮した上で、小出</p>

	<p>市街地直通便の経路は穴沢線と重複する国道 252 号を通過せずに、現在運行している小出・赤土乗合タクシーと同様、県道経由とするような運行形態を考えている。</p>
<p>内田会長 (魚沼市長)</p>	<p>ほかにないようであれば、続いて、3 点目の A I オンデマンドシステムの導入について質疑はないか。</p>
<p>井口委員 (魚沼市自立支援協議会)</p>	<p>A I オンデマンドシステムの導入は、大変ありがたく歓迎するが、その上で要望を 2 点お伝えする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・障害者においても、魚沼基幹病院でなければ診療や入院治療を受けることができない急性期の患者が増加傾向にある。システムの導入を機に、ぜひ魚沼基幹病院へのアクセス向上を図るとともに、やいろの里や小出特別支援学校の関係者、水の郷工業団地の従業員等も利用ができるよう、運行エリアの拡充についても検討願いたい。 ・利用促進に向けた周知方法についても、資料配布や口頭説明のみに終始することなく、実際にアプリでの予約を実践してみせるなど、利用者が手に取って体験できる機会を提供していただくようお願いする。
<p>内田会長 (魚沼市長)</p>	<p>事務局には、井口委員の意見も考慮した中で取組を進めてもらいたい。ほかに質疑はないか。</p>
<p>上村委員 (堀之内連合区長会)</p>	<p>予約方法について、現在は、乗車を希望する便の 1 時間前までに予約といった制限があるが、システム導入後は、予約時間など運用面も緩和されるのか。</p>
<p>事務局</p>	<p>先進地視察を行ってきた感触としては、システムの種類も数ある中で、運用方法もその自治体によって様々である。</p> <p>導入システムの選定や検討はこれからの作業になるので、一概に申し上げることはできないが、おそらく予約時間などについては柔軟な対応が図られるようになるものと考えている。</p>
<p>上村委員 (堀之内連合区長会)</p>	<p>運賃については、いかがか。</p>
<p>事務局</p>	<p>今後、システムが導入された場合においても、実際に現場で運行していただくのは事業者の皆さんであり、予約時間の幅や運賃といった具体的な部分については、今後導入に向けた研究を重ねていく中で検討していきたいと考えている。</p> <p>いずれにしても、現時点では、導入システムの仕様や運用面含め検討段階であることから、今後、詳細についてはその都度ご案内させていただく。</p>
<p>内田会長 (魚沼市長)</p>	<p>ほかに質疑がないようであれば、今ほどの意見や要望なども踏まえ、承認することで異議はないか。</p>
<p>委員一同</p>	<p>異議なし【承認】</p>

(4) 入広瀬コミュニティバスの事業運営について

<p>穴沢代理 (入広瀬コミュニティ協議会)</p>	<p>《入広瀬コミュニティバスの事業運営について(資料4)説明》</p>
<p>事務局</p>	<p>説明資料の1-①繰越金の取扱いについて、1点補足させていただく。 繰越金の適正処理に関し、今後、自主運行分の燃料費を繰越金を含む自主財源で賄うとしたその額約20万円の算定根拠については、運転員の賃金を基に、補助対象運行としている月・水・金曜日と、自主運行扱いの火曜日の運行日数で按分したものである。 具体的な数字で申し上げますと、補助対象分が75.1%、補助対象外が24.9%となり、令和5年度の燃料費予算ベースで換算すると、補助対象外となる燃料費は19万9,200円で、年間約20万円という試算になる。</p>
<p>内田会長 (魚沼市長)</p>	<p>質疑はないか。</p>
<p>小島委員 (魚沼市タクシー協会)</p>	<p>令和3年度に発覚した市職員公金外現金横領事件の返還金約92万円を繰入れしたこの繰越金の取扱いについては、私が再三にわたり改善を促してきた案件であり、令和4年度決算では約140万円にも上る繰越金を計上し、その会計処理や使途について、正当性が担保されるよう是正及び検討するよう幾度と申し上げてきた。 地域密着で一生懸命に取り組んでいただいていることは評価するが、疑念を持たれないような適正な事務執行、運行管理は当然であり、今ほど説明のあった燃料費の取扱いについても、本来であれば当初からそのように処理すべきである。 また、昨年の会議では、従来 of 運行時間の算定方法が見直され、除外されていた待機時間を含めたことから、運転員に係る全体的な実働時間が大幅に増加している。 算定方法の考え方として一定の理解はできるが、その空いた待機時間を、もっと効果的な運行形態を検討するなど、費用対効果の面からも有効に活用していただくとともに、令和5年度決算報告の際には、待機時間を含む運転員の勤務時間と、実際に稼働している運行時間を分けて記載するよう資料の精査をお願いしたい。</p>
<p>穴沢代理 (入広瀬コミュニティ協議会)</p>	<p>一旦持ち帰って精査の上、対処させていただく。</p>
<p>内田会長 (魚沼市長)</p>	<p>ほかに質疑がないようであれば、今ほどの意見や要望なども踏まえ、承認することで異議はないか。</p>
<p>委員一同</p>	<p>異議なし【承認】</p>

4 その他

事務局	事務局としては、特に用意はない。
内田会長 (魚沼市長)	全体を通して、皆さんから意見などがあればお願いしたい。
小島委員 (魚沼市タクシー協会)	AI オンデマンドシステムの導入に際し、概算費用はどの程度見込んでいるのか。
内田会長 (魚沼市長)	市議会へ令和6年度予算案の上程前であることから、回答は差し控えさせていただきます。
小島委員 (魚沼市タクシー協会)	大きな予算規模になるものと推測するが、将来に向けて本市の公共交通を維持し、地域の足を守っていくためには、AIの導入は必要と考える。 一方で、そのためには大きな費用負担が伴うことを、皆さんからもご理解いただくとともに、導入に向けたご協力を重ねてお願いしたい。
星委員 (湯之谷地区自治会長連絡協議会)	AI導入の更に関先を見据え、将来的な自動運転の取組などについても研究・検討はされているか。
事務局	自動運転の導入に関しては、現在、検討段階にも至っていない。 県内では、先駆けて弥彦村が実証運行の開始に向けた取組を行っていることは承知しているが、当地域において例えた場合、一番は降雪・積雪を想定した安全確保が大きな課題になってくるものと認識している。
内田会長 (魚沼市長)	ほかがないようであれば、全ての議事について以上で終了とする。 議事の進行についてご協力いただき、感謝申し上げます。 進行を事務局へお返しする。

5 閉会

事務局	閉会に当たり、宮腰副会長からご挨拶をいただく。
宮腰委員 (長岡工業高等専門学校)	交通事業者の人手不足を受け、首都圏ではライドシェア解禁といった議論が活発化しているが、地方においては、持続可能な公共交通の構築が何より重要視されなければならない。 4月からの試験的な実証運行の計画が示されたことを受け、利用者や事業者を交え、地域の中で様々な知恵を出し合い、課題解決に向けた取組を進めていただきたい。 今年度は、今回を含め対面での会議が2回開催され、委員各位の意思疎通が以前よりも図られたような印象を受ける。 次年度に向けて、より良い形をつないでいけるよう、引き続きよろしくお願ひしたい。

別紙

令和5年度 第2回（第44回） 魚沼市地域公共交通協議会 出席者名簿

(敬称略)

No.	所 属 等	職 名	氏 名	備 考
1	魚沼市	市長	内 田 幹 夫	会長
2	東日本旅客鉄道株式会社	浦佐駅長	千 代 達 彦	兼越後湯沢 駅長
3	南越後観光バス株式会社	取締役 乗合バス営業部長	川 上 洋 一	
4	魚沼市タクシー協会	会長	小島 由紀子	
5	ひかり交通株式会社	常務取締役	佐 藤 貴 宗	(代理)
6	入広瀬コミュニティ協議会	副会長 (コミバス部会長)	穴 沢 勝 弘	(代理)
7	北陸地方整備局長岡国道事務所計画課		(欠席)	
8	新潟県魚沼地域振興局地域整備部計画調整担当	計画専門員（総括）	菫 澤 学 宏	
9	魚沼市産業経済部建設課	課長	星 和 久	監査員
10	新潟県小出警察署	交通課長	佐 藤 篤	(代理)
11	堀之内連合区長会	会長	上 村 勤	監査員
12	小出干溝区連合自治会		(欠席)	
13	湯之谷地区自治会長連絡協議会	会長	星 正 太 郎	
14	広神連合自治会	会長	青 山 春 彦	
15	守門地区区長会	会長	佐 藤 忠 雄	
16	入広瀬地域区長会	会長	浅 井 重 吉	
17	長岡工業高等専門学校	名誉教授	宮 腰 和 弘	副会長
18	北陸信越運輸局交通政策部交通企画課		(欠席)	
19	北陸信越運輸局新潟運輸支局		(欠席)	
20	新潟県魚沼地域振興局地域振興担当	地域振興専門員	柳 田 正 和	
21	新潟県立小出高等学校	校長	南 方 伸 之	
22	魚沼市老人クラブ連合会	理事	佐 藤 彰	
23	魚沼市自立支援協議会	会長	井 口 正 博	
24	(一社)日本労働組合総連合会新潟県連合会中越地域協議会		(欠席)	
25	魚沼市市民福祉部介護福祉課	課長	茂 野 孝	